平成18年(2006)３月31日
第98号

東京の文化財

東京都教育庁生涯学習スポーツ部計画課

東京名所八重洲町警視庁火消し梯子乗之図（歌川広重　明治８年）

新しく指定した文化財

東京都教育委員会は、東京都文化財保護審議会（会長　佐々木正峰 国立科学博物館館長）から平成17年度の東京都文化財の新指定など８件について答申を受け、３月16日に告示しました。

新しく指定した文化財等について、紹介します。

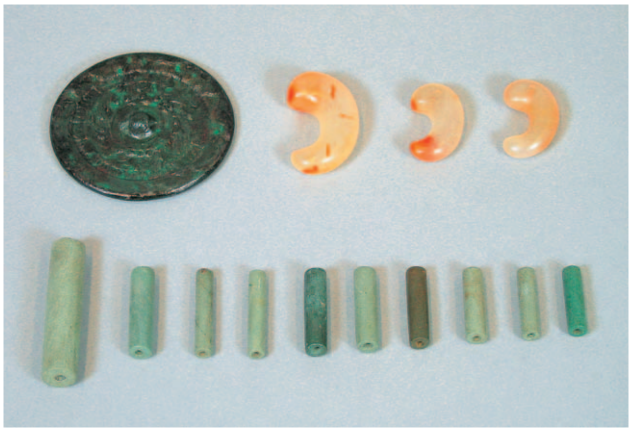
1　新しく指定した文化財

○東京都指定有形文化財（考古資料）

田端不動坂遺跡第17地点第８号土坑出土遺物

所在地　北区王子一丁目１番３号（北区飛鳥山博物館）

所有者　北区（管理者　北区教育委員会）



田端不動坂遺跡第17地点第８号土坑出土遺物

田端不動坂遺跡は、弥生時代中期から古墳時代前期（４世紀末）を中心とした集落跡です。

集落内の８号土坑から小型珠文鏡・メノウ製勾玉・管玉・ガラス製小玉、土器など151点が一括埋納された状態で発見されました。これらは出土した土器から本遺跡が廃絶する古墳時代前期末葉（４世紀末）に行われた祭祀で使われたと考えられます。この一括資料は、集落廃絶時の祭祀を研究する上で貴重な資料です。

○東京都指定有形文化財（考古資料）

瓦谷戸窯跡群出土遺物

所在地　稲城市平尾一丁目9番地1号（稲城市郷土資料室）

所有者　稲城市（管理者　稲城市教育委員会）

瓦谷戸窯跡群出土遺物

瓦谷戸窯跡群は、古く江戸時代から武蔵国分寺や国府の瓦を焼いた跡として知られていました。

窯跡３基等が調査され、武蔵国分寺創建期（８